

別表 海外で注意しなければいけない感染症(平成26年7月)

主な感染源	注意すべき病気	主な発生地域	滞在地域				予防方法		主な症状			
			リゾート観光地	都市部	地方の町や村	森林・原野	その他	予防接種	発熱	下痢	その他	
食べ物 水	★ E型肝炎	世界各地	●	●	●	●	十分火の通った食べ物を食べる 生肉は食べない		●	倦怠感、黄疸（体の皮膚や 白目が黄色になる）		
	★ A型肝炎	発展途上地域	●	●	●			●	倦怠感、黄疸（体の皮膚や 白目が黄色になる）			
	★ 赤痢	発展途上地域	●	●	●				●	ときに血便 激しい腹痛		
	★ 腸チフス	発展途上地域	●	●	●		十分火の通った食べ物を食べる 生水は飲まないようにする		●	倦怠感、比較的徐脈 （高熱なのに比較的脈が遅い）		
	★ コレラ	発展途上地域	●	●	●				●	嘔吐 大量の水様便 下痢による脱水		
	★ ノロウイルス	世界各地	●	●	●		十分火の通った食べ物を食べる 二次感染に注意する		●	●	激しい嘔吐、下痢	
	★ 消化管寄生虫症	世界各地		○	●		こまめな手洗い 十分火の通った食べ物を食べる		●	○		
事故・ケガ	★ 破傷風	世界各地	○	○	○	○	転倒やケガに注意する		●		飲み込みにくい、しゃべりにくい、 全身けいれん	
蚊	★ マラリア	熱帯・亜熱帯地域（アジア、 アフリカ、中南米）	○	○	● 夜間	● 夜間	夜間外出を控える 蚊帳の使用虫除けローションの使用 長袖・長ズボンの着用	予防薬（飲み薬）	●	高熱・周期的	○	悪寒、冷汗 頭痛、筋肉痛 意識障害
	★ デング熱	熱帯・亜熱帯地域（アジア、 オセアニア、アフリカ、 中南米）	● 昼間	● 昼間	○ 昼間		虫除けローションの使用 室内での蚊取り線香の使用など		●	高熱		目の奥の痛み 筋肉・関節痛、発疹
	■ 日本脳炎	アジア		●	●		虫除けローションの使用 予防接種を実施する		●	高熱		昏睡（痛みや刺激に反応しない） 意識障害、頭痛
	■ 黄熱	アフリカ 南アメリカ			● 昼間	● 昼間			●	高熱		頭痛、筋肉痛 悪寒、嘔吐
	■ ウエストナイル熱	北アメリカ アフリカ 中東アジア	●	●	●	●	虫除けローションの使用 長袖・長ズボンの着用		●			頭痛、筋肉痛、倦怠感
■ チクングニア熱	東南アジア 南アジア アフリカ	● 昼間	● 昼間	● 昼間	●			●	高熱		頭痛、筋肉痛 倦怠感、発疹 関節痛、関節のはれ	
動物	■ 狂犬病	世界各地	◆	◆	◆	◆	むやみに動物に触らない 予め狂犬病ワクチン接種を受ける 犬等からの咬傷後、ワクチン等による 発症の予防		●	●		治癒した受傷部の痛み 知覚過敏 恐水・恐風症状
	■ 鳥インフルエンザ	アジア、アフリカ、中東			●		農家、市場、動物園などの鳥類との 接触を避ける。手洗い、うがい		●	○		呼吸器症状
人	★ 麻疹	世界各地 （特にアジア・アフリカ）	●	●	●				●	●	○ 乳幼児では多い	咳、鼻水、結膜充血、発疹
	★ 風疹	世界各地 （特にアジア・アフリカ）	●	●	●				●	●		発疹、リンパ節腫脹
	■ ポリオ	南アジア・アフリカ等		○	○		手洗いの実施		●	●	○	麻痺
沼や湖河川	■ レプトスピラ症	世界各地			●				●	●		悪寒、頭痛、筋痛 腹痛、結膜充血
	■ 住血吸虫症	アジア(揚子江)、アフリカ (ナイル川)、中南米など			○	○	淡水（川や湖）での水浴びを控える		○	○	○	下痢(血性)、肝臓、脾臓の腫れ

★：最も注意をしなければいけない病気

■：渡航先、活動内容によって注意しなければいけない病気

●：感染する機会が多いので十分に注意

○：感染する機会は少ないが注意が必要

◆：動物と接触する機会の多い場合には十分に注意

●：ワクチンにより予防できる
※予防接種は、渡航期間、地域、
活動内容により、医師と相談の上
考慮する。

●：よくみられる症状

○：ときにみられる症状